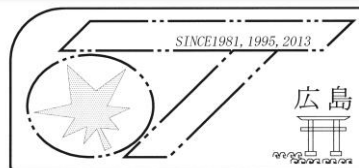


認知症作業療法 活動報告 (概要)

広島県作業療法士会では、士会役員及び事務局員、大学等学術経験者・認知症疾患医療センター設置施設の会員で社会貢献部内に認知症OT推進担当を設けている。

認知症OT推進担当部員を中心に認知症生活行為支援指導者研修を運営し人材育成を軸とした「研修」、関係機関からの要請に基づいた会員の紹介などの連携、福祉祭りなどの活動を通じた啓発活動や相談を行う「地域支援」、大学などとの連携による新たな介入方法についての検討、検証などを行う「研究」の活動を展開している。



研修

認知症生活行為支援指導者研修基礎課程（テーマA～F）、実践者研修、認知症アップデート研修を二次医療圏域4か所に振り分け各1回開催する。

研修性面識の運用 広島県作業療法士会 認知症生活行為支援指導者研修制度運用マニュアル・研修シラバス 第2版

<http://hiroshima-ota.kir.jp/wp-test/wp-content/uploads/2020/03/97352d2b4ea847058b104a87acd372cb-1.pdf>



人材育成状況 (2020年度末)

会員数 1598名
(令和3年8月21日現在)

認知症生活行為支援指導者

13名

認知症生活行為支援実践者

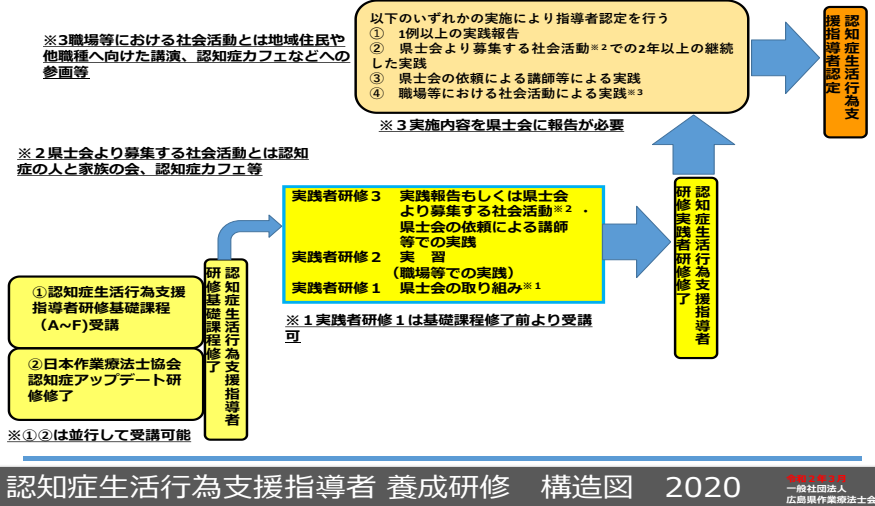
35名

基礎課程修了者

297名

認知症アップデート研修修了者

379名



地域支援

- ・ 関係機関からの要請に応じた会員の紹介等、情報の提供や共有
- ・ 若年性認知症支援ネットワーク会議委員への会員派遣
- ・ 行政機関との連携による認知症カフェの運営への会員の派遣 → 計5回5名の派遣

研究

県立広島大学の域課題解決研究での連携

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/uploaded/attachment/15672.pdf>

https://www.youtube.com/watch?v=hOd_sGaXr-U&feature=emb_title

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会広島支部の若年性認知症のつどい「陽溜まりの会」への会員の派遣を中心に連携を行っている。2020年度は県内3か所の「陽溜まりの会」へ計18回延べ25名の派遣を行った。2021年度も継続して会員の派遣を行っている。

COVID-19 (新型コロナウイルス) の影響・対応など

感染拡大状況により認知症カフェ等地域での活動において施設の使用の制限などにより休止などの制限が続いている。また、福祉まつりなどでの啓発機会減少、地域支援事業に関わる会員が限られてしまうなどの影響が出ている。

一方で研修事業などWEBを活用により開催の担保が出来るようになった。